

本日は、お招きをいただきまして誠にありがたく思っております。先ほどから山本会長さんをはじめ3名の町長さんから真剣な決意を聞かせていただき、参考になりましたことを心から感謝を申し上げます。

政権交代を成し遂げたのは民主党ではありません。国民の皆様方の意思でございました。そのことをわたくしたちが常に肝に銘じなければならぬと思っております。わたくしたちはだからこそ町村会の皆様方の思いを真剣に受け止めて、真の意味での、まさに国民主権の政治というものを今つくりあげていきたい、その思いに燃えているところでございます。

まだ駆け出しで2ヶ月でありますので、皆様方にもお怒りの部分もあるかと思いますが、どうかそのところはまだ未熟だということで、辛抱強くご理解をいただき、支えていただければと思います。どうぞよろしくお願い申し上げます。

私どもがなぜ政権交代を、国民の皆様方と一緒に成し遂げなければならなかったのか。それは所信表明の中で申し上げましたとおり、国があって地方があるのではない、むしろ地方があって国があるんだ。国と地域は上下関係ではない、対等のパートナーである。私は、地域のほうが上位にあるというくらいの思いで政治を大逆転させていきたい、そんな風に考えております。それを形だけ、口だけで申し上げているのか、それとも中身のある行動の伴ったものになるのか、これから皆様方のご判断を願いたい。今日、この大会の場で私が言ったことよくわかるようになったと、そのように皆様方にお認めいただけるように、一つひとつ実現をしてゆきたいと存じます。

私たちは生半可な思いで地域主権を申し上げているのではありません。地域のことは、地域の皆様が計画をして、ないものを補い、そして実現できるというように変えていきたい。それを、わたくしたちは一丁目一番地だと常に心がけながら、原口総務大臣をはじめとして、我々みんなが行動してまいりたいと思います。そのためにも「国と地方の協議の場」をいち早く法制化しなければならない。必ず次の通常国会において実現を図ってまいります。しかしそれでは遅すぎますので、一昨日、山本会長にもご出席をいただき、「国と地方の協議の場」を開き、様々なご意見、ご要望をいただいたところです。

地方分権改革推進委員会では、四次にわたる勧告を出していた

いただきました。これまでの勧告では、先ほどお話がありましたように、なかなか権限の移譲が進まない。そのようなことを私どもは四次にわたる勧告から学ばせていただきましたので、この現実を受け止め、どこまで実現をしていくか。それを国民の皆様に関心事まで高めてゆきたいということを約束をいたします。地方分権は、口で言ってもなかなか実現されてこなかったのが、今日までの現実でございます。政策を実行していくためには、国政の政治家だけでは必ずしも力が足りません。ぜひ町村会の皆様方が、国の役所は何をやっているんだ、もっとしっかりやれと私どもの後押しをしていただければ、必ず現実のものになってゆくと、私は確信をいたします。そのためにも是非こは皆様方のご協力をお願いしたいと思います。

先ほどから、会長をはじめ様々なご意見をいただいたことを真剣に受け止めてまいります。町村の発展のためにはやはり農林水産業が重要であります。後継者を見いだすことが出来るよう、多くの人に農業に参入していただける環境づくりを頑張ろうとの思いで、「戸別所得保証制度」というものを、来年度には必ずスタートさせたいと思います。また林業のお話もございました。私は、林業育成のための「100万人雇用プロジェクト」というものを以前から掲げており、林業の重要性を感じているところです。林業こそ、あるいは森林を守ることこそが地球環境問題にも資する、そして真の意味での雇用、経済対策にもなる大きな事業だと考えております。この実現のためにも、皆様方のお力を存分にお借りを申し上げたい、そのようにも思うところがございます。

過疎法のお話もありました。出来る限り、充実をさせて、延長を図ってゆくことを皆様方にお約束をしたいと思います。あらためて皆様方の立場に立った政府になっていくという意欲を感じていただけるかどうか、これからの私どもの歩みを是非、ご覧になっていただければと思います。

私たちは生半可な気持ちで事業仕分けをやっているつもりはありません。まだまだ、生ぬるいのではないかという思いを抱いておられるかもしれませんが、精一杯頑張ったい、この思いは、全て国民の皆さん、特に今日まで一番厳しい環境の中で頑張ってこられた町村の皆様方の未来のために頑張る所存であることを、是非ともご理解を頂き、あらためて政権交代の意義を私自身、噛みしめて頑張りますので、皆様方と共に歩む政権だという気持ちだけでもご理解を頂ければ、誠に有り難く思います。

山本会長はじめ皆様方のお集まりに対して、心から敬意と感謝を申し上げながら、皆様方の発展が日本の発展であるという思いのもとに、政府としても全力を尽くすことをお誓いを申し上げます。ありがとうございます。

平成二十一年十一月十八日

内閣総理大臣 鳩山由紀夫